

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和 3年 7月19日

「稚内港末広ふ頭岸壁改良事業」が全建賞を受賞しました

一般社団法人全日本建設技術協会では、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するため、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備等に対して表彰しており、この度、「稚内港末広ふ頭岸壁改良事業」が評価され、全建賞を受賞しましたので、お知らせします。

「稚内港末広ふ頭岸壁改良事業」は、大型クルーズ船の寄港要請に早期に対応するため、既存施設を活用して、ドルフィン形式での改良を実施したものです。既存岸壁構造をそのまま延伸し施工した場合と比較し、半分以下の期間である2年という期間で工事を竣工させるとともに、コスト縮減を図った点が評価されました。

事業名：稚内港末広ふ頭岸壁改良事業

～既存施設を活用した大型旅客船に対応した整備～

受賞機関：国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所

【参考】

・「全建賞」とは

「一般社団法人全日本建設技術協会」（東京都港区赤坂）が行う表彰で、「優れた建設技術の創意工夫をこらした活用並びに事業の進め方やインフラの運用の工夫等により、秀でた成果の得られた、もしくは得ようとする事業または施策、および国民の安心・安全確保に資する等の社会貢献活動や公共事業全般に対する理解の向上等に貢献する事業又は施策を選考し、これを実施した機関」に授与される賞です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

稚内港湾事務所 所長 松尾 義雄 (0162-33-2758)

稚内港湾事務所 第1工務課長 河合 淳 (0162-33-2758)

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント https://twitter.com/mlit_hkd_wk



稚内開発建設部 稚内港湾事務所が実施した「稚内港末広ふ頭岸壁改良事業」が評価され、一般社団法人全日本建設技術協会から「全建賞」を受賞しました。

【事業の概要】

- 稚内港では、近年多くの大型クルーズ船の寄港要請を受けていましたが、安全かつ円滑に係船する施設がないことから、大型クルーズ船に係留できる施設の早期整備が必要でした。
- 本事業の施工では、既存岸壁の延長方向に係留用ビットを2基増設することにより、係留に必要な延長を確保し、早期の整備効果発現及び建設コスト縮減を実現する「ドルフィン形式」を採用しました。
- 平成29年度から工事に着手し、平成31年1月に完成しました。



係留ビット完成状況



連絡橋の架設状況



表彰状と楯

【評価のポイント】

本事業は、大型クルーズ船の寄港要請に早期に対応するため、既存施設を活用して、ドルフィン形式での改良を実施したものです。既存岸壁構造をそのまま延伸し施工した場合と比較し、半分以下の期間である2年という期間で工事を竣工させるとともに、コスト縮減を図った点が評価されました。